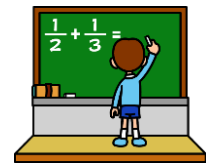




令和元年度 大浦小 学力向上プラン



I 各種学力調査結果を踏まえた「短期プラン」

1 課題の改善状況や傾向、全校で揃えて実践する取組

課題の改善状況や傾向	全校での共通実践項目
<p>▲前年度全校課題「国語：文学的な文章の解釈 ※6年未検証」、「算数：数と計算」は、十分な改善に至らなかった。</p> <p>▲今年度、5年生は算数、6年生は国語に課題が多く見られた。</p> <p>▲令和元年度後半からの全校課題を、「国語：目的に応じて書くこと」、「算数：数と計算」とする。</p>	<p>国語：目的に応じて書く力を付けるために</p> <p>◇「書く活動」を意図的・日常的に位置付ける。 (例) ㊦学習のふり返し、㊦漢字帳に一言日記、㊦ミニ作文・条件作文</p> <p>算数：数と計算 領域の力を付けるために</p> <p>◇「計算練習」の質と量をアップさせる。 (例) ㊦反復練習(縦でも)、㊦宿題プリントの工夫、㊦やり直しの徹底</p>

2 2学期以降、各学年で特に重点化する学習内容や取組

	重点化する学習内容や取組	学力調査課題との関連
1年生	国 「ふりかえりタイム」で終わる授業実践。	全国・県：「目的に応じて書くこと」
	算 「すらすらタイム」で始める授業実践。	全国・県「数と計算領域」
2年生	国 「ふりかえりの時間」を位置付けた授業実践。	全国・県：「目的に応じて書くこと」
	算 「ふりかえりの時間」を位置付けた授業実践。「九九」の学習単元の重点化。	全国・県「数と計算領域」
3年生	国 漢字ノートの余白に一言日記。漢字まとめテストの徹底。B4宿題プリント裏面半分に「言葉の学習」を掲載。	全国・県：「目的に応じて書くこと」、全国：「漢字」
	算 「習熟」の場を保障する授業実践。B4宿題プリント表面に「学習のおさらい」、裏面半分に「計算問題」を掲載。	全国・県「数と計算領域」 県「分数」、「式と図の関連」
4年生	国 「ふりかえりの時間」を位置付けた授業実践。	全国・県：「目的に応じて書くこと」
	算 「習熟練習」と「ふりかえりの時間」を位置付けた授業実践。	県：「小数の計算」、「分数の加減」、「式と図の関連」
5年生	国 輪番でのスピーチ活動では、必ず読み原稿を書かせ、それを担任が前日昼休みまでに確認・指導。	県：「一文→二文、二文→一文」、「条件作文」
	算 火曜日の「基礎基本の時間」は、「数と計算」の練習問題に絞り、丸付け・やり直しを徹底。	県：「小数の計算」、「分数の加減」
6年生	国 条件作文を意識した書く活動。（「最後の行まで書く」、「〇行以上」、「〇字以内」など）	全国：「条件作文」
	算 宿題のやり直し徹底を目指す。	全国：「四則や混合計算」、「図形」、「求め方を書く」

3 全校としての成果指標

1年後の各種学力調査において、「目的に応じて書くこと（条件作文、文の推敲、漢字）」、「数と計算」に関する問題の平均正答率等を「全国（県）と同等程度（95%以上の達成）」とする。

Ⅱ 学習・生活状況等の改善を含めた「中期プラン」



1 全国学力・学習状況調査結果による本校児童の学習や生活状況の特徴

◎ 質問全58項目中、全国平均以下4項目、全国を10ポイント以上上回っているもの20項目

特に優れているところ（更に伸ばしたいこと5）	全国平均との差（％）	大浦小の割合（％）
①地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている。	+13.8	68.3
②学校に行くのは楽しい。	+11.8	97.6
③昼休みや放課後等に本を読んだり借りたりするために、学校や地域の図書館に週1回以上行っている。	+18.1	35.3
④算数の勉強は好きだ。	+10.3	78.9
⑤授業でコンピュータなどのICTを、ほぼ毎日使用している。	+34.3	44.7

課 題（改善したいこと3）	全国平均との差（％）	大浦小の割合（％）
①国語の勉強は好きだ。	-4.2	60.0
②国語の授業はよく分かる。	-2.5	82.4
③家で自分で計画を立てて勉強している。（H30は約80%で、全国を+11.4）	+0.3	71.8

2 「（長崎市校長会作成）学力向上を目指す6つの視点」を基にした各種取組の継続

